

## 1 教育目標

「心身共にたくましく、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成」

(知) 自ら学び、自ら考える力を育成し、主体的、発展的、実践的な能力を培う。

(徳) 正しい道徳的判断力と強い意志を養い、自律的な生活態度を育てる。

(体) 主体的・継続的な体育的活動をすすめ、健康でたくましい心身を育てる。

<めざす学校像>

○元気なあいさつと明るい笑顔のあふれた学校

<めざす児童像>

○考える子(よりよく生きるために自ら学び、自ら考え実践できる子)

○支えあう子(自他のよさを認めあいながら、仲間と協働できる子)

○やりぬく子(社会の変化に主体的に関わり、力強く生き抜く子)

○元気な子(体力と気力にあふれ心身共に健康で、意欲的に活動できる子)

<めざす教職員像>

○意欲的に創意と工夫をこらした指導をする教職員

○厳しさの中に、豊かな愛情と広い心をもって児童を育む教職員

○研修に励み、専門職としての資質と指導力の向上に努める教職員

○協力し合い、積極的に学校運営に取り組む教職員

## 2 具体的目標

- (1) 教職員相互の信頼と協力に基づいて絶えず研修を積み重ね、活気に満ちた学級・学校づくりに努める。
- (2) 学校・家庭・地域との連携・協力を密にしながら、保護者・地域住民の信頼に応える教育活動を展開する。
- (3) 児童の実態をふまえ、基礎的・基本的な内容の確実な定着と、確かな学力の育成を図る。
- (4) 道徳的心情と正しい判断力を育み、よりよき規範意識を樹立、情操の陶冶、自主的行動の啓培に努める。
- (5) 「人権」「生命の尊厳」を柱に、差別に対する正しい見方、考え方を培い、差別に立ち向かう意欲と実践力を養う教育を推進する。
- (6) 児童の自主性を伸ばすとともに、実践力を高めるための体験活動を重視した教育活動を推進する。
- (7) 特別支援教育の在り方を正しく認識し、一人一人の児童の実態を把握し、児童の可能性を最大限に伸ばす取組を個別指導計画の中に正しく位置づけ、継続的な指導体制を確立する。
- (8) 自他の生命の安全に留意し、健康でたくましい心身を育てる保健・安全・体育的指導に努める。

### 3 指導の重点

#### (1) 確かな学力の育成

指導方法や学習形態を工夫し「楽しく、よくわかる」授業の構築に努めると共に、個に応じた主体的な学習を充実させ、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る。また、言葉による見方や考え方を大切にしながら、書いたり説明したり話し合ったりする言語活動を充実し、思考力・判断力・表現力を育成する。

#### (2) 豊かな人間性の育成

一人一人の問題をみんなの問題としてとらえる集団づくりや相手の立場に立って物事を考えることのできる取組を通して、自分や他者への理解を深め、相手を思いやる心や自他の命や人権を大切にできる子どもを育てる。また、縦割り活動や体験活動を通して集団におけるルールやマナーを身につけ、規範意識を培う。

#### (3) たくましい心身の育成

縦割り遊び(カラフルタイム)や業前・業間・昼間の積極的な外遊びの奨励に努めると共に、駆け足やなわとび等の体力づくりに継続的に取り組み、進んで運動を楽しもうとする態度や多様な運動能力の育成に努める。

### 4 その他の配慮事項

#### ○ICT環境の活用の充実

・ICT環境を積極的に活用し、子どもたちの学習への興味・関心を高め、わかりやすい授業を実現する。

#### ○これからの時代を生きる抜く力となるプログラミング教育の充実

・急速な技術革新の中でプログラミングや情報技術のあり方がどのように変化していても、普遍的に求められるプログラミング的思考を育成する。

#### ○健康な体としつけの徹底

- ・食後の歯磨きの励行と手洗いの習慣化を図るとともに基本的な生活習慣を育成する。
- ・毎日児童の下校後、トイレ・手洗い場の消毒を実施し、衛生管理に努める。

#### ○授業時間の確保

・チェックリストを作成して学期ごとの授業時数を集計し、その確保の徹底に努める。